

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp
地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第18回(通算3058回)2025年(令和7年)12月2日号

本日の例会(12月2日)

フランス/遠くて近い国

酒本将稔 会員

次回の例会(12月16日)

刀剣の研磨について

大越美術刀剣研磨處 大越明友 様

11月25日の例会報告
会長の時間

先日、奈良県第2グループの会長・幹事会が、大和高田RCのホストで當麻寺中之坊において開催されました。その際、交流を図るために県下第2グループで合同例会をしてはどうかという提案が出ました。今年についてはもう既にそれぞれ例会の予定が決まっておりますので、次年度について調整することになりました。幹事のロータリークラブは橿原RC、あすかRCにご担当いただきます。

また、千玄室様のお別れ会が11月27日、京都の国際会議場で行われます。県下第2グループとして献花をまとめて捧げさせていただくことも決まりました。

本日の例会は、職業奉仕担当のエssenシャルワーカー表彰をさせていただきます。日頃より地域においてご活躍されている、高田警察署、香芝警察署、そして大和高田市立病院の方々にお越しいただきました。我々ロータリーが唱える4大奉仕の中でも、職業奉仕というのは大変重要であると考えられています。地域の安全と安心、そして市民の健康と医療に大きく貢献されている皆様方に、本日は心から感謝申し上げたいと思います。

幹事報告

◎臨時理事会のご報告

クラブ細則によりますと、指名委員会より次々年度会長候補者の報告が本日ある予定でしたが、諸般の事情により、本日より2か月以内にすることにさせていただきます。

◎委員会別情報集会のご案内

12月2日(火)例会終了後 B班

◎長期ビジョン委員会

12月2日(火)11時

ゲスト

- 岡澤敬子様(高田警察署長 卓話講師)
- 田口亮二様(高田警察署)
- 花岡美希様(高田警察署)
- 瀧口智也様(高田警察署)
- 宮崎 亮様(高田警察署)
- 山口尚久様(香芝警察署長 卓話講師)
- 田口郁子様(香芝警察署)
- 中本勝也様(香芝警察署)
- 田中登梧様(香芝警察署)
- 向川智英様(大和高田市立病院長 卓話講師)
- 磯尾欣也様(大和高田市立病院 事務局長)
- 榊田義英様(大和高田市立病院)
- 岡本千賀子様(大和高田市立病院)

誕生日祝

清水良彦会員(11月25日) 池田定嗣会員(12月1日)

創業記念日祝

出川裕一会員(11月25日) 射場祥行会員(12月 1日)

委員会報告及びその他報告

◎2026-2027年度役員及び理事候補の指名
辻 修会長エレクト

クラブ細則第3条第1節(b)より

- 副会長 杉垣輝樹会員
- 幹事 藤井宏典会員
- 会計 林田光治会員
- 理事 池木啓仁会員 垣本喜己会員
- 射場祥行会員 木下庄司会員
- 上田麻子会員 平岡雄一郎会員

◎国際奉仕委員会 中井謙之副委員長
2026年6月13日から17日に行われます国際大会についてご報告いたします。ご参加の方には、チケットの申込用紙をお送りしております。また、アレルギーの有無と参加の確認をお願いいたします。

◎ローターアクト委員会 川中教正委員長
11月30日(日)JR高田駅東側で満腹マルシェを行います。10時半から16時まで私がおりますので、メーキャップをお申し出ください。

12月16日(火)、第2例会のクリスマス例会を、香芝市の「味苑」で行います。ご参加の程お願いいたします。

◎ロータリー財団委員会 吉田 暁委員長
11月は国際奉仕月間です。世界ポリオデー・ポリオ撲滅活動募金の募金箱を回しますのでご協力の程お願い申し上げます。

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ニコニコ箱

・奈良第2グループ会長・幹事会のお礼。

奈良第2グループガバナー補佐 吉田勝亮様
第2グループ会長・幹事会

・高田・香芝警察署両署長、大和高田市立病院長をお迎えて。 山田 博 会員

・高田警察署長岡澤様、香芝警察署長山口様、大和高田市立病院長向川様をお迎えて。卓話よろしくお願いたします。

木原常裕会員 中井隆男会員 鈴木勝士会員
村井善治会員 池木啓仁会員 木下庄司会員
布施隆教会員

・応援していただいております御所実業ラグビー部、4年ぶりに全国大会出場を決めました。応援よろしくお願いたします。 山下精久会員

・常日頃より市民の安心・安全のためにご活躍いただきありがとうございます。 村野淳二会員

・先日はお越しいただきありがとうございます。

川中光教会員

・鈴木勝士さんには平素より記念の写真を撮ってくださりありがとうございます。 村島靖一郎会員

・例会欠席のお詫びです。 喜多輝昌会員

・誕生日祝を頂いて。 清水良彦会員

・少し良いことがありました。 吉田太郎会員

第3回クラブフォーラム(職業奉仕)

エッセンシャルワーカー表彰・記念品贈呈

木下庄司職業奉仕副委員長

本日は、クラブフォーラムとして、職業奉仕委員会によるエッセンシャルワーカー表彰を行います。

田口亮二様(高田警察署)

花岡美希様(高田警察署)

瀧口智也様(高田警察署)

宮崎 亮様(高田警察署)

田口郁子様(香芝警察署)

中本勝也様(香芝警察署)

田中登梧様(香芝警察署)

榎田義英様(大和高田市立病院)

岡本千賀子様(大和高田市立病院)



高田警察署長 岡澤敬子様

本日は、エッセンシャルワーカー表彰式において、高田署員、香芝署員に対し表彰いただきありがとうございます。また、平素は警察活動の各般にわたりまして、深いご理解、ご支援を賜っておりますこと、

この場をお借りして御礼を申し上げます。

本日は犯罪対策についてお話をいたします。

皆さん、いろんな場において、刑法犯の認知件数についてお聞きになったことがあるかと思います。まずは、昭和21年から令和6年までの刑法犯の認知件数の推移を見てみたいと思います。戦後、昭和21年頃には刑法犯が増えております。そして、昭和48年以降、およそ1970年以降の統計を見ましても認知件数はだんだんと増えていき、平成14年にはピークとなります。その後、令和3年が最小値となりまして、それ以降、だんだんまた増加してきております。

本日お話しするのは、平成14年から令和3年まで急激に刑法犯の認知件数が下がってきた間、どんな対策をしたかということについてでございます。

被疑者・犯人と被害者がいて、その被害者と被疑者の置かれる環境、この3つがそろって犯罪が発生するという考え方があります。

その際、私たち警察が一番対応しているのは、被疑者を少なくする、捕まえるということです。そういたしますと、被害者の環境が変わってなくても、犯罪は少なくなります。被疑者に対するアプローチは、警察だけではなく、刑務所での更生や、子供の頃からの「悪いことをしたら駄目だ」という教育を行うなどのやり方があります。

次に、被害者の側へのアプローチがございます。例えば何か犯罪が起きた際、被害者と被疑者をもう会わないように分離するというのが一つの方法です。また、被害に遭わないためにどうするか勉強していただくということもあります。

そして、3つ目に環境というところがございます。いろんな環境によって、犯罪が起きる、起きないということがあります。例えば防犯カメラがたくさんある環境ですと犯罪を犯しにくいということがあります。そういった法律を整備することも、環境対策として挙げられます。

この点について、一つ簡単な分かりやすい例を紹介いたします。平成14年頃の刑法犯のピーク時、全国の自転車盗難件数は、当時の刑法犯認知件数の2割ぐらいを占めていました。それ以降、どんどん減ってきております。警察庁で働きかけましたのは、自転車の鍵を変えていただくということです。業界団体に対して、プレス型のキーから、シリンダー型、馬蹄錠に変えるようお願いをいたしました。日本工業規格の基準から変えていただいたわけです。その結果、自転車の施錠をしていたにもかかわらず盗まれるという数はずっと減ってきています。環境を変えることで犯罪が減ると一例でございます。

残念ながら、高田警察署管内でもまだまだ自転車盗難の件数は多くございます。理由は、自転車に鍵をかけていないことにあります。現在は、施錠していただくという働きかけに取り組んでおります。

そして、残念ながら、窃盗や詐欺といった財産犯のうち、特に詐欺が令和3年以降、特に増えてきております。犯人が海外にいる場合などは、日本の警察だけでは捕まえにくく、被疑者に対するアプローチがかなりしにくいのが現状です。

そこで、被害者に対する取組に力を入れております。そのためにも犯罪の発生原因を知っていただくようにしております。

奈良県警では「ナポリス」というアプリを運用しております。QRコードからインストールしていただきますと、毎日、詐欺の被害例についてプッシュ通知で届

くようになっております。ぜひ登録・ご活用いただき、詐欺を1件でもなくすようにご協力をお願いしたいと思います。従業員の皆様にもお広めください。



香芝警察署長 山口尚久様
皆様方におかれましては、平素から警察活動の各般にわたりまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして御礼を申し上げます。また、本日はエッセンシャルワーカー表彰として、高田警察署と当署に対しまして表彰をいただきました。誠にありがとうございました。署員の励みになるかと思っております。

本日は犯罪情勢について若干ご説明させていただきます。

まず、刑法犯認知件数でございます。戦後最大となりました、平成14年の全国の刑法犯認知件数は約285万3000件でした。その後、徐々に減少いたしまして、令和3年は戦後最小の約56万8000件、令和6年になりますと、約73万8000件となっております。平成14年と比較いたしますと、随分と減少したということがお分かりいただけるかと思っております。

一方、窃盗や詐欺、こういった財産を対象とする財産犯については、昨年の被害額は約4021億円でした。過去最悪であった平成14年の約3758億円を上回る額となりました。極めて憂慮すべき状態にございます。また、その被害の大半が詐欺の被害で、約3075億円を占めております。

昨年の財産犯による被害額は約4021億円となっており、警察庁の予算額をも上回る額となっております。詐欺対策がいかに現在重要であるかということがお分かりいただけるかと思っております。

詐欺の一例として、ロマンス詐欺における、被害者と犯人のメール交信の例をお示しした資料をお配りさせていただきました。女性の被害者もいらっしゃいますが、ここでは男性の被害者を例に挙げております。

最初は「初めまして、すごくタイプです」というような書き込みです。この程度では何とも思われぬ方もいらっしゃると思いますが、何度も繰り返されるうちにほだされてしまう方もいらっしゃいます。

文章の中には「ネイチャーがお好きなんですか」というような、不自然な日本語があります。これは「自然がお好きですか」ということを言いたいのでしょうか、外国人が翻訳機を片手に交信していることでもありますので、こういった表現になっています。

そして、「私はシンガポールに住んでいます」とか、「母が日本人です」などの書き込みも、ロマンス詐欺の典型的な特徴です。少し違和感がある日本語の表現についても、さも外国人の方が一生懸命に日本語で会話しようとしているかのように装うことでごまかそうとしています。また、「海外にいるために私とは簡単に会えませんよ」というような形で、状況を納得させようとしてきます。

その後、いよいよお金の話が出てきます。ここまでには相当いろんな話を進めてきていますので、被害者の男性の理想の女性像に近づきつつあります。援助したいなという気持ちになってしまっています。

このお金の話が出た瞬間が非常に重要です。見

知らぬ方とのメールのやり取りの中でお金の話が出ましたら、十分気をつけていただきたいと思っております。このときに一旦距離を置いて、自分自身が冷静になれるかどうか、また、勇気を持って誰かに相談できるかどうかということが分かれ目になります。この話に乗ってしまいますと、あとは被害者の方の預貯金がなくなるまで犯人に吸い尽くされてしまうこともあります。

詐欺については、警察は金融機関やコンビニエンスストアの方々と連携して対策を講じております。また、国際電話の利用を拒否するという働きかけなども対策として進めております。しかし、なかなか被害が収まらないのが実情でございます。市民の方々におかれましても、詐欺の被害に遭わないよう、くれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

大和高田市立病院長 向川智英様



ロータリークラブの皆様には、平素から当院の診療活動に対しましてご支援とご協力を賜り、本当にありがとうございます。また、本日は当院職員に対してエッセンシャルワーカー表彰を授与していただきまして、大変光栄に存じます。

本日は、ようやく収束した新型コロナウイルスについて、当院での経験を踏まえて振り返り、また来年から開設いたします、緩和ケア病棟についてご紹介したいと思います。

まず、私が市立病院に赴任いたしました2021年1月には既に、当時の院長のリーダーシップによりまして、中和地域において先駆けて新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れておりました。コロナ陽性の患者さんを隔離して入院治療を行う、専用病棟を設置していました。

今でこそ新型コロナウイルスについて多くのことが解明されておりますが、当初は、著名人などが肺炎でお亡くなりになったという報道を耳にいたしますと、得体のしれない病原体に感染した患者さんを受け入れるということは、正直、私たち医療従事者にとりまして、恐怖心が全くなかったと言えば嘘になると思っています。

当院でも、コロナ専用病棟のスタッフは、患者さんと接触する際には、マスク、手袋、ガウン、ゴーグルといった防護服を着用して自分の身を守るとともに、他者への感染拡大を防御する必要がございました。慣れていても手順どおりに防護服を着用するだけで5分、10分かかりますので、常にこれを着用していなければなりません。M95マスクは、通常のマスクと違い、顔面との密着性が非常に強く、ゴーグルも視界を遮り、防護服を着用するだけでも非常に圧迫感や息苦しさを感じておりました。終日勤務いたしますと、体力の消耗は相当なものとなっております。

また、屋外駐車場の一角に設置いたしました発熱外来におきましては、防護服を着たスタッフが、猛暑の夏には汗だくになりながら、寒い冬には震えながらも、鼻の粘液の採取や検査を行っておりまして、非常に過酷な労働環境でした。

このような身体的なストレスだけではなく、「自分が知らない間に感染していて、他の患者さんや自分の同僚、家族にうつしていないか」、「自分や家族が感

染して病院を休んだら迷惑をかけてしまうんじゃないか」といった、様々な不安や葛藤がございました。精神的なストレスも計り知れないものがあったように思います。

実際、スタッフの人員配置の調整に非常に難渋したということもしばしばございました。流行期には、スタッフが徹底した感染予防対策を行っていても、院内では集団感染が発生することがございました。ご家族からは「入院しているのに何で感染したのか」とお叱りを受けることもありました。また、一旦、院内感染クラスターが発生いたしますと、コロナ感染症以外の患者さんも入院を制限せざるを得ず、他の病棟や近隣の病院と連携し、転棟や転院をお願いすることもございました。入院患者さんとの面会も制限せざるを得ず、やむを得ずモニター越しの面会となったり、不幸にも対面の面会がかなわずそのままお看取りをしたという、つらい経験もございました。

感染症に対しては、我々医療者だけではなく、社会全体で立ち向かう必要があるということも、今回の新型コロナウイルス感染症から学んだと思います。そして、家庭でも病院でも、まずは感染症を予防すること、次にたとえ感染したとしても迅速に対処して早期に鎮静化する、これが極めて重要です。

そのコロナ感染症もようやく収束しまして、今年になり、コロナ専用病棟は閉鎖して一般病棟となっております。

そして、来年1月からはがんの終末期の患者さんの苦痛を和らげ、安楽に生活していただくための緩

和ケア専用病棟として生まれ変わる予定です。緩和ケアとは、痛みや息苦しさなどの体のつらさ、不安や怖さといった心のつらさを和らげ、自分らしく過ごすためのケアのことを言います。病棟理念として、「一人一人の人生を尊重し、ひだまりのような優しさの中で大切な時間を過ごせるように支えること」を掲げておりますので、ひだまり病棟と名付けました。

最後に、コロナ感染症の収束により、病院機能が平時に戻り、病院運営も安定するものと思っておりましたが、その矢先に、昨今の急激な人件費や薬品費、診療代、医療費の高騰のため、病院経営は全国的に非常に厳しい状況となっております。

特に当院のように、多くのマンパワーを投じて治療を行う必要がある急性期病院等、必ずしも採算性が見込めない医療を行う必要がある公的な病院ではなおさらです。

そのような中、当院では医療の質を向上するため、様々な取組を行っております。先ほどお話した緩和ケア病棟の開設のほか、脱腸専門のヘルニアセンターの開設、外科・泌尿器科に加え、新たに産婦人科でのロボット手術の導入など、病院は常に進化を続けております。

職員は皆、地域の皆様の健康を守るために、市立病院をよりよい病院にするため、高いモチベーションで勤務を続けております。ここにご参集いただいております皆様には、大和高田市立病院が地域の医療に貢献できますよう、今後ともご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

事業報告(青少年奉仕委員会)

青少年奉仕委員会は当クラブ65周年事業の一つとして、去る11月9日(日)に當麻寺中之坊におきまして、地域の小中学生を対象とした「写経、写仏の会」を開催いたしました。

たくさんの子供たちが保護者とともに参加され親子で地域の歴史、文化に触れていただく機会となりました。



出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
11月25日	87	55	49	6	0	32	26	0	92.60%
11月11日	87	55	46	9	2	32	21	0	90.24%
11月4日	87	55	44	11	1	32	23	0	87.18%

※食品ロスの削減に努めましょう。(11月11日の弁当残数は3個)